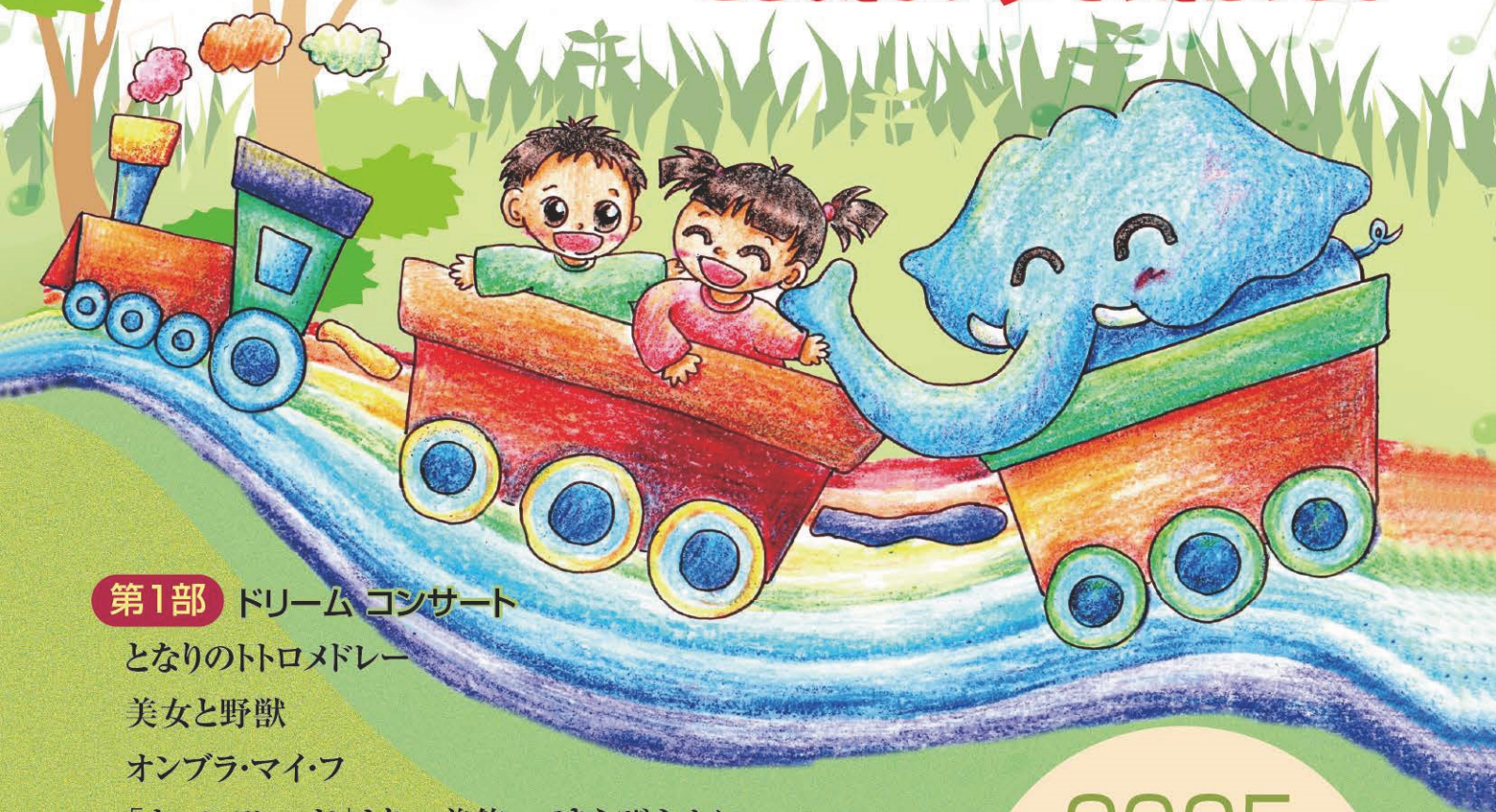


合唱構成

ぞうれっしゃが やってきた

～こどもたちの夢をうたにのせて～



第1部 ドリーム コンサート

となりのトトロメドレー

美女と野獣

オンブラ・マイ・フ

「キャンディード」より 着飾ってきらびやかに

他

第2部 大人とこども総勢100名による 合唱構成「ぞうれっしゃがやってきた」

指揮：萩原 勇一

園長：中山 知彦

ぞう使いの娘：石川 真子

ピアノ：米田 佳子

フルート：森 亜紀

サクソフォン：大田黒 翔子

合唱：徳島ぞうれっしゃ合唱団

2025
3/20 (木・祝)

13:30開場 14:00開演

藍住町総合文化ホール

入場料

一般 1,500円(高校生以上)

子ども 1,000円(中学生以下)

主催

後援

チケット取扱い

お問い合わせ

「ぞうれっしゃがやってきた」コンサート実行委員会

共催

藍住町総合文化ホール

藍住町教育委員会 徳島新聞社 四国放送 エフエム徳島 エフエムびざん

黒崎楽器本店(088)-653-6614 藍住町総合文化ホール(088)637-3344

事務局 090-1176-7363 email:zou_tokushima@yahoo.co.jp

合唱構成 ぞうれっしゃがやってきた

原作：小出隆司 詞：清水則雄 曲：藤村記一郎

あらすじ

木下サーカスでこどもたちの人気者だった4頭のぞうたちは、多くのこどもたちに見てもらいたいという名古屋の東山動物園の園長さんたちの頼みで動物園がゆずり受けることになりました。

昭和12年、日本は中国と戦争をしていました。動物園ではまだたくさんの動物がいました。やはり一番人気はぞうたちで、その柵のまわりはいつも人でいっぱいでした。

しかし戦争はアメリカやイギリスなど世界中の国を相手にだんだん激しくなりました。えさのつらささえも燃料になってしまい集めるのが大変でした。そして全国の動物園に「猛獣を処分せよ」という命令が出されていたのです。処分する猛獣の中にはぞうも含まれていました。

そんな厳しい状況の中、東山動物園の北王園長さんたちの優しさとうるさな行動により、4頭のぞうのうちマカニーとエルドの2頭が生き残りました。戦争が終わり、夢も希望もなくなったこどもたちの「ぞうをみたい」「ぞうに会いたい」というささやかな願いをかなえるため、動物園までこどもたちを運ぶ特別仕立ての「ぞうれっしゃ」が走るようになったのです。



出演者



指揮者：萩原 勇一

島根大学農学部環境保全学科を経て、熊本県庁に入庁し農政部に働くも、指揮者への夢を諦めきれず、30歳でくらしき作陽大学音楽学部に入学。2005年3月同大学指揮専修卒業。これまでに指揮法を志賀保隆氏に師事、故・岩城宏之、田中一嘉、山下一史、J.リブリー、鈴木孝佳（TAD鈴木）各氏に学ぶ。管弦楽、オペラ、吹奏楽、合唱、邦楽合奏等、岡山県内外で幅広いジャンルの指揮活動を行うほか、作・編曲活動も行う。現在、エスバス管弦楽団、津山交響楽団、オペラブラザ岡山、やかげ混声合唱団の常任指揮者、岡山市消防音楽隊の講師を務める。箏曲三上社（邦楽合奏）、阿南第九の会（合唱）、高知交響楽団へも定期的に客演指揮者として招かれている。



バリトン：中山 知彦

徳島市出身。徳島大学医学部卒業。精神科医。ピアノを西野洋子氏に、声楽を市岡雅明氏に師事。中学生時、合唱部のピアノ伴奏をしたことをきっかけに合唱への興味をもつ。これまで徳島市立高等学校合唱部、徳島大学リーダークライス、Diligo Musica、オニオンズ、鳴門アカデミー合唱団、forma、Serenitatis Ensemble、合唱団ひぐらしで合唱団員として活動。2017年、第6回JCAユースクワイアのメンバーに選出される。2018年、『かぐや姫』中納言/天の王役でオペラデビュー。徳島県合唱連盟理事。



ソプラノ：石川 真子

徳島県出身。大阪音楽大学声楽専攻を首席で卒業。卒業時に最優秀賞、永井幸次音楽賞を受賞。在学中、オペラ「魔笛」夜の女王役、「こうもり」アデーレ役等を演じる。「第10回徳島音楽コンクール声楽部門 大学・一般の部」金賞「第8回豊中音楽コンクール 大学・一般の部」本選入賞「第77回全日本学生音楽コンクール大阪大会 大学の部」第3位「第2回東京国際管弦声楽コンクール 大学の部」第1位「第27回パルナソス音楽コンクール声楽部門」第3位。これまでに大田黒啓子、尾崎比佐子の各氏に師事。関西歌曲研究会所属。



ピアノ：米田 佳子

鳴門教育大学卒業。同大学大学院修了。草津音楽アカデミーにて、B・カニーノ、F・ボグナー各氏のマスタークラス受講。声楽・合唱・管弦楽器等の伴奏ピアニストとして、県内外で幅広く活動している。2008年に、阿南市において2台ピアノのリサイタルを開催。阿南第九の会のピアニストを務める。ピアノデュオ「aiiro♪piano」として、ベートーヴェン第九交響曲を岡山・兵庫の各県にて演奏。「劇団夢創」音楽指導者。鳴門教育大学嘱託講師。「ぞうれっしゃがやってきた」第1回公演より、ピアニストとして演奏している。



フルート：森 亜紀

大阪教育大学教養学科芸術専攻音楽コース卒業。オーストリアにてコフラー氏やグラーフ氏らのマスタークラス修了。2001年よりザルツブルグ・モーツァルテウム大学にてレンチュ氏のもとで研鑽を積み、2003年帰国。第9回びわ湖国際フルートコンクールセミファイナリスト。2005年と2022年にソロリサイタル、2007年に大阪と徳島でデュオリサイタルを開催し、好評を博す。現在、アンサンブルなど様々な演奏活動をする傍ら、中学高等学校の部活やジュニアオーケストラの講師としても後進の指導に力を注いでいる。フルートアンサンブル徳島メンバー。



サクソフォン：大田黒 翔子

大田黒翔子(saxophone) 徳島県立西高等学校芸術科音楽卒業。大阪音楽大学音楽学部器楽学科卒業。同大学専攻科修了。在学中より、校内オーディションによる選抜演奏会、ザ・カレッジ・アンサンブルコンサート、メビウスサクソフォンアンサンブルコンサート、トリオコンサート等関西、徳島で積極的に演奏活動を行う。須川展也氏のマスタークラス受講。サクソフォンを新田恭子、篠原康浩、小村由美子、赤松二郎の各氏に師事。室内楽を井上麻子、上塚憲一各氏に師事。現在、関西中心にフリー奏者として活動中。また、後進の指導にも当たっている。メビウス∞サクソフォンアンサンブルメンバー。